

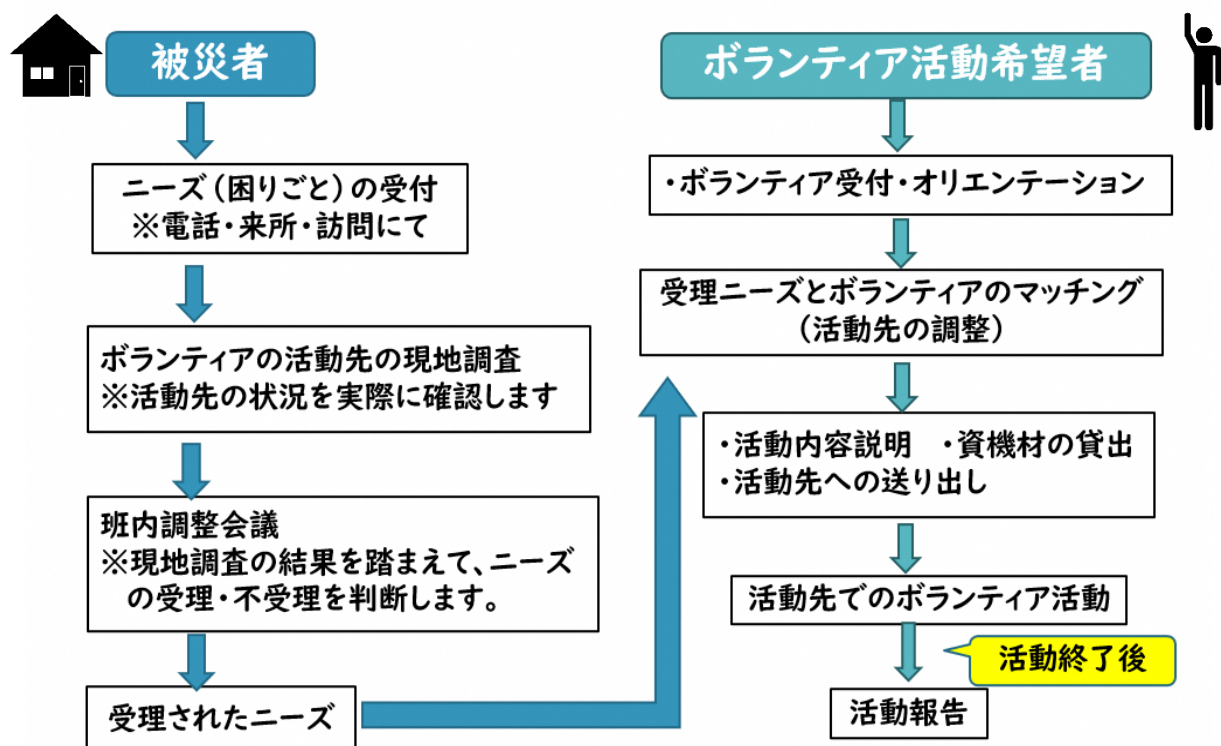
災害ボランティアセンターとは

大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動を円滑に進めるために設置される、復興支援活動の拠点です。風水害をはじめ地震等の大規模災害が発生した際に、必要に応じて藤枝市が設置し、藤枝市社協が市や関係団体等と協力をしながら運営をします。

被災者・被災地を主体としながら、ボランティアの協力を得て地域の復興につなげていくことを目的としています。



藤枝市災害ボランティアセンターの運営の流れ



いざという時は、地域での助け合いが大事！
でも、困ったときは災害ボランティアセンターがあることも覚えておいてね！

【問合せ】

社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会
藤枝市岡部町内谷 1400-1

電話：054-667-2940 FAX：054-667-3319

e-mail：csw-fuje@po2.across.or.jp

台風 15 号に係る藤枝市社協ボランティアセンターの活動報告

令和4年9月23日の夜から24日の朝にかけて記録的な豪雨をもたらした台風15号で被災された方が、一日も早く通常の生活に戻ることができるよう、家財の運び出しや土砂の撤去、家屋の清掃等にご協力いただけるボランティアを募集し、派遣を行いました。

◆社協の動き

9月24日	市内の被害状況の確認・情報収集、県内情報収集
9月25日	被害の大きかった地区を中心にセンター周知のためのチラシを配付、ニーズ調査
9月26日	WEB上でボランティア登録受付開始（藤枝市民限定） 同時に緊急性の高いニーズに対し、災害ボランティア・コーディネーター 藤枝、藤枝青年会議所、藤枝ライオンズクラブの協力を得て対応
9月29日	ボランティア派遣を開始 依頼を受けた困りごとの現地調査、新たなニーズ調査も並行して実施
10月3日～	水害対応に関する専門的技術をもつ「一般社団法人 OPEN JAPAN」の協力
10月14日	被害の大きかった地区に再度チラシを配付

◆ボランティア依頼件数（対応件数）：138件（稲葉、葉梨、広幡、藤枝、青島、岡部）

◆依頼内容：家財搬出・処分、畳の搬出、土砂のかき出し、ゴミの仕分け、
床板剥がし、床清掃、床下乾燥、断熱材除去・・・など

◆ボランティア登録者：221名 ◆ボランティア実活動人数（延人数）：514名

◆訪問時に被災された方から聞かれた声

- ・不安ばかりで頭が整理できず何も手につかない ・外出する気力がなくなってしまった
- ・食事もうるを通らないし、夜も眠れない ・いろいろな手続きの仕方がわからない
- ・これまで夫婦で頑張ってたけど片付けをしてきたけど疲れ切ってしまった
- ・1人でどうしたら良いかわからず、死にたい気持ちになってしまった
- ・ゴミを自分で捨てろと言われても、こんなにたくさん運べない・・・など

【ボランティアセンターの流れ】



①検温・手指消毒による
感染対策



②QRコードによる受付
名札作成・保険加入



③オリエンテーション



④マッチング



⑤グループごとの打合せ
必要資機材の確認・貸出



⑥現地への送迎



⑦現地での活動



⑧資機材洗浄・返却
活動報告